

第 62 回北海道開発局空港技術研究会議にて発表

～ハイドラントバルブ交換・設置専用リフターの開発について～

<北海道開発局 空港技術研究会議>

北海道開発局で開催される空港技術研究会議は、空港整備に携わる技術者の研鑽を目的として、昭和 37 年から継続して開催しており、最近の空港整備に係る技術動向や取組について、広範かつ多様な発表内容で構成されています。

また、本研究会議は全国土木施工管理技士会連合会の継続学習（CPDS）プログラムに認定されています。

<発表内容>

弊社は、「ハイドラントバルブ交換・設置専用リフターの開発について」発表しました。

成田国際空港の航空燃料は、ハイドラントシステムと呼ばれる給油方式でサービサー（給油車両）を介して航空機に給油をしており、サービサーのホースを接続する給油施設の末端のバルブを「ハイドラントバルブ

（以下、H/V）」と呼んでおり、世界各国のハイドラントシステムを導入している空港で設置されているものとなります。

弊社は、成田国際空港における航空機給油施設全般の一体的運用管理を担っており、業務の中で重量約 30kg もある H/V の取付・設置（交換作業）も行っております。

弊社の発表内容である「ハイドラントバルブ交換・設置専用リフターの開発について」は近年の課題となる、高齢社員の増加や女性社員の配属による、重量物の取り扱い作業における課題解決に向けた開発品となります。

<開催日時>

1. 日時
2025 年 2 月 25 日（火）
2. 開催場所
札幌第 1 合同庁舎 2 階講堂
（札幌市北区北 8 条西 2 丁目）
3. 弊社発表タイトル
～ハイドラントバルブ交換・設置
専用リフターの開発について～

<開発品ポイント>

- ① H/V を保持する治具の開発
 - ・掴みやすく、重量物である H/V に治具をワンタッチで取付け ⇒ 簡単に安定して、保持可能
 - ・国際規格で形状が統一されているバルブ頂部に取り付ける構造 ⇒ メーカー問わずすべての H/V に対応

特許出願済：特願 2024-033257
- ② 市販品リフターを作業に特化した仕様へ改造
 - ・市販品のアサダ社製のリフターを改造
⇒ 開発コスト、期間を短縮
 - ・昇降のストローク量が大きいリフターを選定
⇒ 車両への積み下ろしから H/V 交換まで
全ての H/V 運搬をカバー

